

事業コード	H16-建-新-4			区 分	国庫補助・県単独
事業名	特定交通安全施設等整備事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	歩道等			課 室 班 名	道路環境課 道路環境推進班 (tel) 2488
路線名等	一般国道285号			担当課長名	虻川 憲悦
箇所名	五城目町五城目			担当者名	大森 郁夫
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	3	施策名	交通安全や地域安全対策の推進	
	目標コード	2	施策目標名	交通安全施設の整備(歩道等整備率)	

## 1. 事業の概要

事業期間	H17~H20(4年)	総事業費	4.4億円		国庫補助率	5/10	
事業規模	延長L=508m、幅員w=13.0(2.5-1.5-6.0-1.5-1.5)						
事業の立案に至る背景	<p>国道285号は秋田市を起点とし鹿角市に至る幹線道路である。また当路線は秋田市と県北地方を結ぶ重要な路線となっており自動車交通量が多い路線である。当該区域は付近に小学校、中学校や公的施設があり歩行者が多いにもかかわらず、歩道が狭いうえに段差や路上障害物が点在している。このため歩行者が車道部を通行しており、歩行者は常に危険な状態にさらされている。このことから平成12年度に当該区間を含めて交通安全総点検を実施したところ、地元住民から歩道拡幅への強い要望があったことから、平成17年度より歩道の整備を行うものである。</p>						
事業目的	交通安全施設の整備により、事故の減少、交通の安全を確保し、交通環境の改善を図る。						
事業費内訳	(単位:千円)						
事業内容		全 体	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度以降	
	事業費	440,000	30,000	175,000	170,000	65,000	
	経費内訳	工事費	44,700		16,850	17,100	10,750
		用補費	351,300	6,500	149,400	144,400	51,000
		その他	44,000	23,500	8,750	8,500	3,250
	財源内訳	国庫補助	220,000	15,000	87,500	85,000	32,500
		県債	88,000	6,000	35,000	34,000	13,000
その他							
一般財源	132,000	9,000	52,500	51,000	19,500		
事業内容		詳細設計 用地補償	用地補償 歩道工	用地補償 歩道工	補償 歩道工		
調査経緯							
上位計画での位置付け	総合計画における施策「交通安全や地域安全対策の推進」を支援する事業						
関連プロジェクト等	平成12年度 交通安全総点検						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>当該区間は近年、事故が多発しており、道路利用者にとって危険な状態にある。事故件数H9:2件 H10:11件 H11:8件 H12:11件 H13:1件 平成12年度に交通安全総点検が実施されるなど、この地域の交通安全に対する住民の関心も高くなっている。</p>						
事業効果把握の手法	指標名	歩道等整備率			データ等の出典	交通安全施設現況調査	
	指標の種類	成果指標 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">業績指標</span>					
	指標式	歩道整備済延長/県道路延長			把握の時期		
	目標値 a	40.5%					
	実績値 b	32.7%					
達成率 b/a	80.7%						
					平成14年3月		

2. 所管課の1次評価

(五城目町五城目 地区)

観 点	評価の内容(特記事項)	評価点
必 要 性	12時間自動車交通量が11,414台、歩行者交通量が144人/日と多く、毎年事故が発生している。 計画区間前後には歩道があり、歩道の連続性がない。	25点
緊 急 性	本路線は、交通安全指定道路になっており交通安全上の重要路線である。 毎年事故が発生している。	10点
有 効 性	事業が実施されることにより歩道が繋がり歩行者の安全性が向上する。	20点
効 率 性	事故状況も過去5年間の事故件数が33件もある。	25点
熟 度	平成12年度に交通安全総点検を実施した箇所であり、地元住民から歩道の拡幅や歩道のバリフリー化への強い要望がある。	20点
判 定	<p>ランク ( ○ )</p> <p>全観点で高い得点となっており、交通事故を軽減し、生活の安全と地域の振興を図ることでも有効な事業箇所であり、実施すべきと考える。</p>	100点
総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。</p>	

3. 総合政策課長の2次評価

4. 財政課長意見

総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>当該付近には、小学校や中学校等があるにもかかわらず、歩道が狭いことなどから、毎年のように交通事故が発生している。このため、歩道を拡幅するなどして、歩行者の安全を確保しようとするものであること、また、当該区間の前後は既に道路改良済みであることなどから、事業実施は妥当と考える。</p>	意見内容	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>歩道があるものの、当該道路は幹線道路、また観光道路等としても重要な路線であり、交通量の多さや前後区間が改良済みであることなどを勘案すると、歩行者の安全確保のため、事業実施は妥当なものとする。</p>
------	--	------	--

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>事業実施は妥当である。</p>
------	--

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該箇所を国に新規要望する。</li> <li>・事業実施に当たっては、コスト縮減に努める。</li> </ul>
---

7. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の評価および対応方針を妥当とする。</p>
---------------------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 **新規箇所** ・ 継続箇所 事業コード (H16 - 建 - 新 - 4) 箇所名 ( 五城目 )

適用事業名 **特定交通安全施設等整備事業**

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の利用状況				
	12時間自動車交通量	1,000台/日以上	5	5	通学路以外の場合
		1,000台/日未満	0		
		500台/日以上	5		
		500台/日未満	0		
	歩行者交通量	100人/日以上	5	5	通学路以外の場合
		100人/日未満	0		
		学童・園児 40人/日以上	5		
		学童・園児 40人/日未満	0		
	歩道の連続性	計画区間前後に歩道あり	5	5	通学路の場合
		計画区間前後に歩道なし	0		
	歩行者・自転車交通量	150人台以上	5	5	概ね500m以内
150人台未満		0			
道路幅員	車道幅員(路肩含む)5.5m以上	5	5	一方通行の場合3.5m以上	
	車道幅員(路肩含む)5.5m未満	0			
計			25	25	
緊急性	交通安全指定道路	指定あり	10	10	
		指定なし	0		
	計				
有効性	歩行者等の安全性向上	あり	20	20	
		なし	0		
	計				
効率性	事故状況(過去5箇年)	6件以上	25	25	
		1~5件	15		
		なし	0		
	計				
塾 度	地元ニーズ	文書要望あり	20	20	
		口頭要望あり	10		
		要望なし	0		
	計				
合 計			100	100	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	100	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	80点未満		